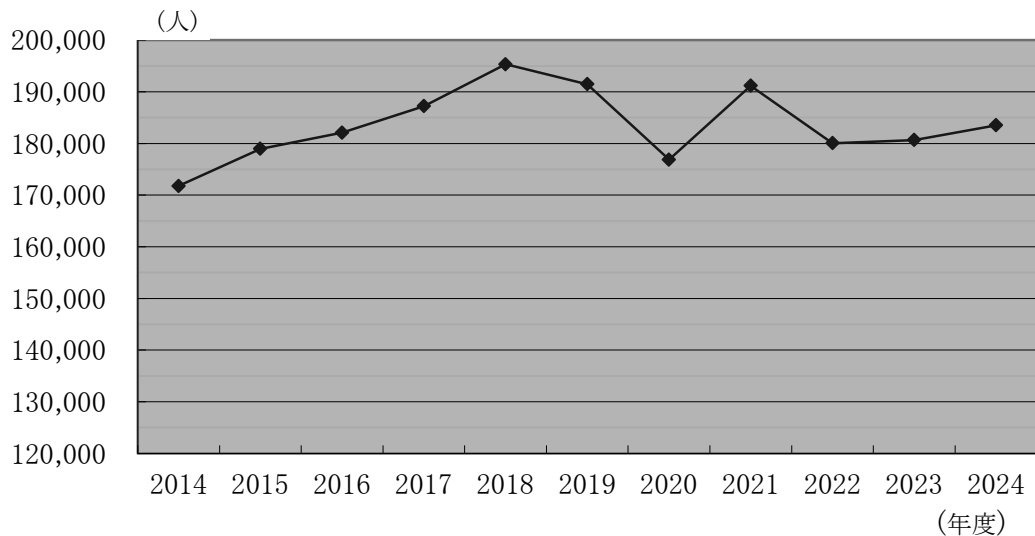


## Ⅱ－２

### ２．入院診療実績

在院患者延数は1999年度以降一時130,000人台で推移してきたが、平均在院日数の短縮化に伴い、2005年度以降は128,000人台で推移していた。2008年度・2009年度の増床により17%以上増加し、2010年度以降は毎年微増し、2018年度には190,000人台に突入した。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり170,000人台まで低下した。2021年度は190,000人台に回復したが、2022年度以降は病床制限の影響もあり、再び減少に転じた。

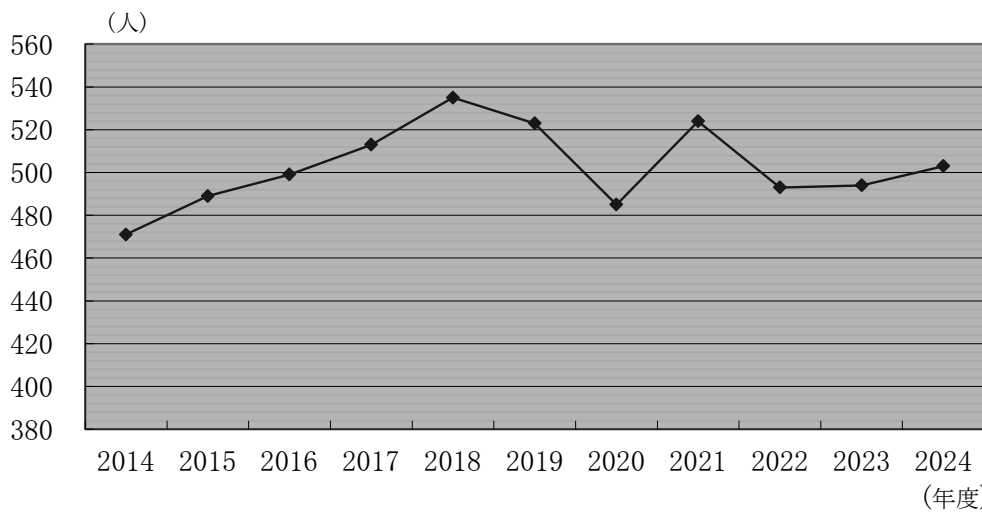
#### ①在院患者延数



(単位：人)

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
在院患者延数	171,786	178,970	182,095	187,234	195,328	191,470	176,882	191,190	180,054	180,654	183,518

#### ②1日平均在院患者数

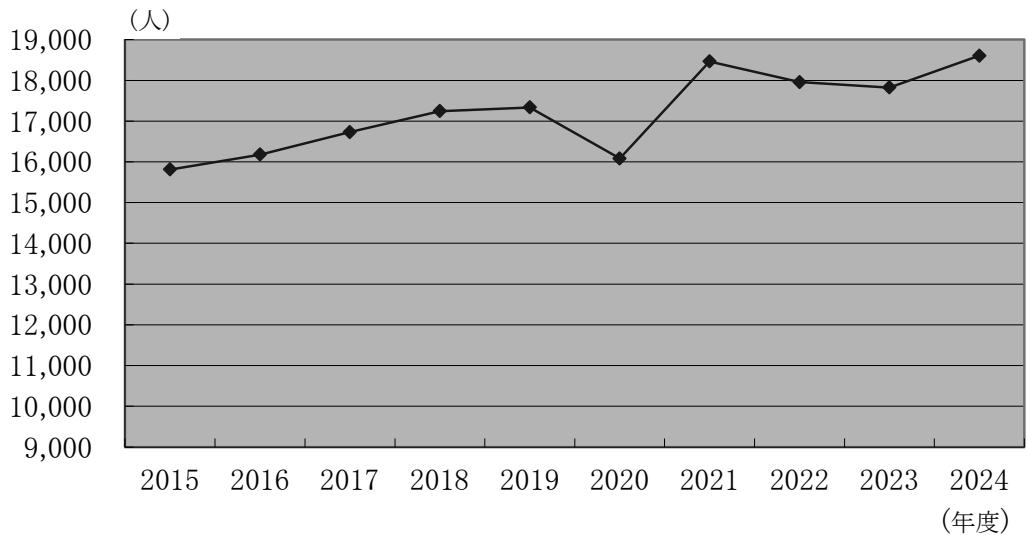


(単位：人／日)

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
1日平均在院患者数	471	489	499	513	535	523	485	524	493	494	503

新入院患者数は増床、平均在院日数の短縮化等により毎年度増加している。病床稼働率については、2008年度に産科及び小児科病棟が開棟したものの、本格稼働には至っていないこと等により2009年度には一時81.3%まで低迷した。2010年度以降は徐々に回復傾向にあり、2018年度には92%台に達したが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり低下に転じた。2021年度は大幅に増加したものの、2022年度以降は病床制限の影響もあり低下傾向で推移していたが、2024年度は新入院患者数、病床稼働率ともに過去最高水準となった。

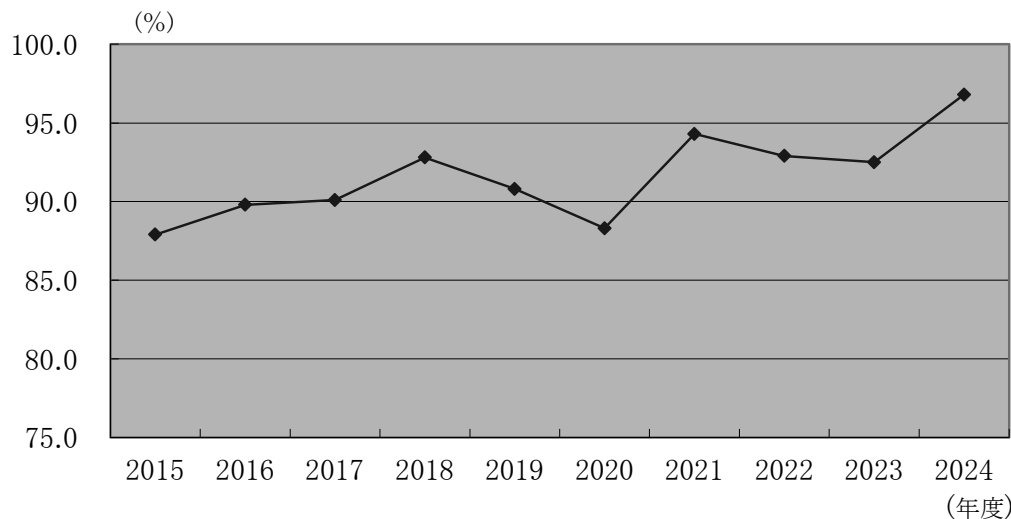
### ③新入院患者数



(単位：人)

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
新入院患者数	15,810	16,179	16,729	17,243	17,334	16,083	18,464	17,958	17,824	18,606

### ④病床稼働率

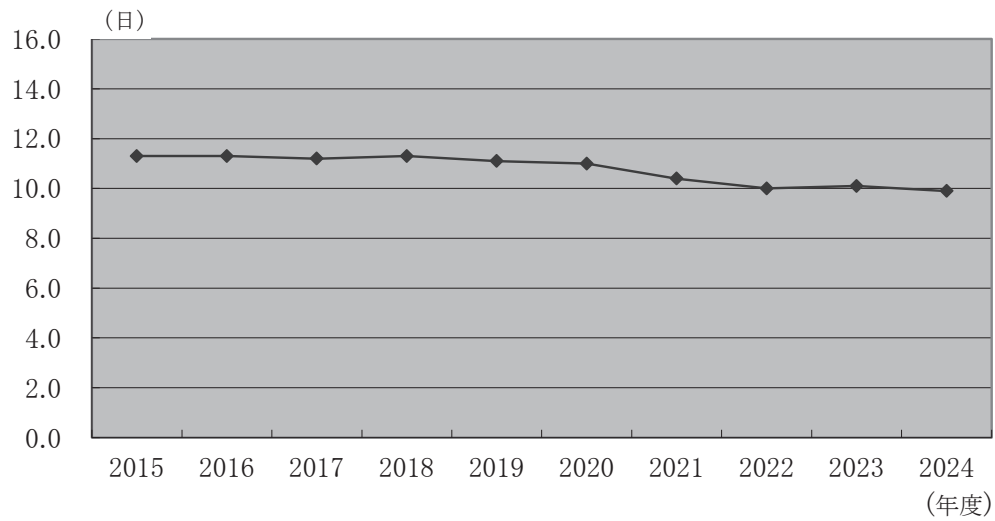


(単位：%)

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
病床稼働率	87.9	89.8	90.1	92.8	90.8	88.3	94.3	92.9	92.5	96.8

平均在院日数については、クリニカルパスの推進等の努力の結果、11日台で推移してきた。2021年度以降は10日台となり、2024年度はさらに短く、9日台となった。

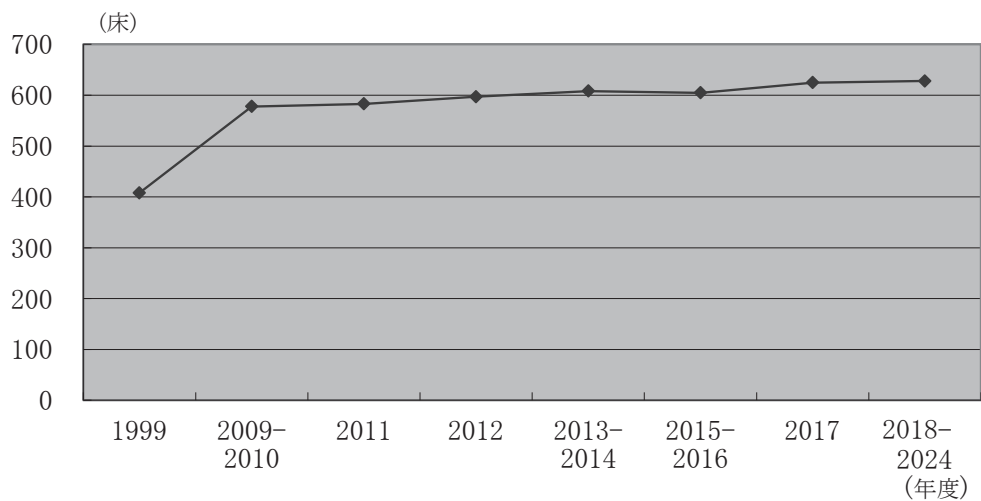
### ⑤平均在院日数



(単位：人)

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
平均在院日数	11.3	11.3	11.2	11.3	11.1	11.0	10.4	10.0	10.1	9.9

### ⑥病床数



(単位：床)

年度	1999	2009-2010	2011	2012	2013-2014	2015-2016	2017	2018-2024
病床数	408	578	583	597	608	605	625	628